

福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

発表演題名	福井県における新型コロナウイルス感染症の発生状況について
発表学会名	令和4年度地方衛生研究所全国協議会東海・北陸支部保健情報疫学部会
発表者名	小和田和誠（保健衛生部）
開催場所	Web 開催（zoom）
発表日時	令和4年10月14日 13:30～16:00
発表内容	<p>新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生状況について、2020年3月18日から2022年7月31日までに、本県において感染者として確認された57,326名を対象とし、県が公表した患者情報を用いて解析した。また、2020年2月17日から2022年7月31日までに当センターにおいて実施した検査を対象とし、検査結果を解析した。</p> <p>年齢別にみると、アルファ株流入以前は50代や90代以上が多かったが、アルファ株やデルタ株の流行期は20代が多くなり、オミクロン株の流行期になると10歳未満が多くなっており、若い世代の感染者の割合が増加傾向であった。地域別にみると、変異株の流行開始時はクラスターが発生した地域の患者割合が大きくなっていったが、流行ピーク時にはどの地域も多くの患者が発生していた。</p> <p>当センターにおけるPCR検査の結果、陽性率は増加傾向であった。全ゲノム解析の結果、週ごとの各変異株の検出割合をみると、新たな変異株を10%以上検出すると、その約2週間後には50%を超え、さらに約2週間後には90%を超えていた。また、90%以上置き換わった後に患者数が多くなっていた。今後も10%以上置き換わりが見られたら、約1カ月後には患者が増加する恐れがあると考えられた。</p>